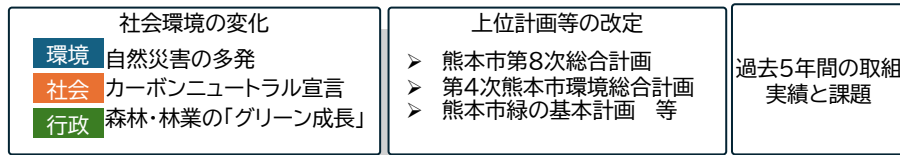


## 1 現計画の概要

**概要** 森林整備の推進と活用を目的として令和3年3月に策定  
 本計画は、熊本市の森づくり施策の基本方針であり、森づくりの方向性と方策、森林整備の基本的な考え方を示す自主計画と、森林施業の方法や森林保護等の規範等を示す法定計画の2部構成となっている。

計画期間 令和2年度～11年度

## 2 見直しの背景



「熊本市健全な森づくり推進計画」の見直しへ

## 3 実績と課題

### 方策1 森林の有する多面的機能の高度発揮

**【検証指標】** 森林経営管理制度に基づく森林所有者意向調査の実施積算面積  
 基準(R2)56ha 目標(R2~6)300ha 実績(R2~6)557ha

実績○私有人工林の意向調査・間伐等を実施(15年で一巡)

○老朽化した遊歩道や森林空間の整備を実施

課題○境界が不明確な箇所が多く、地権者の同意取得に期間を要する場合があります



### 方策2 放置竹林対策の取組の拡大

**【検証指標】** 放置竹林対策(多面的機能発揮対策交付金等)実施面積  
 基準(R2)37ha 目標(R2~6)216ha 実績(R2~6)177.2ha

実績○森林・山村多面的交付金を活用し、竹林整備を行う団体を支援

○景観向上のため林内に集積された竹材をチップ処理

課題○助成希望団体の増加により、事業費の確保が課題



### 方策3 市民が森に親しむ森林空間の創出と森林に対する市民理解の醸成

**【検証指標】** 森に親しんだ市民の割合  
 基準(R2)17.5% 目標(R6)増加 実績(R6)19.3%

実績○緑化フェアやくまもと花博等で、木育や山での活動を展開

○水源かん養林整備計画に基づき新規造林を実施

○公共施設19件で木材利用(内装の木質化含む)を実施

課題○教育・指導者の減少により、木育や森林体験の開催が困難



## 4 見直しのポイント

○課題等を踏まえ、以下の(1)~(3)は、引き続き推進し、強化していく。

○社会情勢の変化に応じた新たな視点による取り組みを追加する。

### 現行計画での森づくりの方向性

(1)森林の有する多面的機能の高度発揮

→既存事業の継続

・森林経営管理制度等の既存事業を着実に実施する。

(2)放置竹林対策の取り組みの拡大(市民協働の取組と里山林の保全)

→活動財源の強化

・森林環境譲与税の使途の追記等により新たな活動財源の確保

(3)市民が森に親しむ森林空間の創出と森林に対する市民理解の醸成

→人材育成の推進

・アクションプログラム等の実施による人材の発掘と人材の育成、活動の支援

### 新たな視点及び変更点

① 昨今の国内外の動向を踏まえた取組の強化

a. 既存の施策の推進 b. 脱炭素社会の実現に向けた炭素吸収量の見える化

② 上位計画等との整合

年度経過に伴い変更された関連計画等との整合

③ 多様な財源の活用

a. 森林環境譲与税の使途の追加 b. グリーンボンド、ブルーボンド、J-クレジット等の活用

④ 長期的課題の整理

長期的課題の優先順位等の明確化

## 5 改定スケジュール

	2025年						2026年		
	7	8	9	10	11	12	1	2	3
協議会	★	★	骨子報告	★		素案報告			計画改定
手続き							市民参画等		